

# 政務活動費成果届出書

届出者 小出 義一

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研 修**・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

名古屋芸術大学の竹本学長の研修は、下記の点を明確にすることができ有意義であった。

- ・文化振興といっても範囲は広く、成果を出す分野と手法を明確にしておく必要がある。
- ・政策的に予算付けをする必要があり、所管を市長部局に移した成功事例が多い。
- ・雁宿ホールは、十分な活用できるよう計画づくりが必要。
- ・ゆめたろうプラザはNPOに運営を委託し、良い結果を出している。
- ・市民参加の仕組みづくりが、成功のための重要な要素。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・目的・目標・課題を明らかにした、「文化振興計画」が必要。
- ・計画の初期段階で、専門的な知見を持った方の意見を踏まえた方向づくりが最も重要。
- ・雁宿ホールの活用には、アートマネジメントをこなせる方を加えることが望ましい。
- ・長久手文化の家のフレンズやゆめたろうプラザのNPOの依る運営など、市民力を活かす実行計画を策定してほしい。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

Blank box for additional remarks.

	議長	管理委員長
確認欄		



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり 代表者 他7名	3,574円 3,571円	

令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 小出義一

タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員  
代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明



研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)

# 政務活動費成果届出書

届出者 水野尚美

○使途項目 (○をつける) 調査研究・**研修**・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

半田市の良さと、半田市がこれまで大切にしてきた文化を基盤に、新たな可能性を引き出す仕組みや、人の育みが文化振興の推進には必要不可欠だと理解できた。また、1300人も収容できる施設であるにも関わらず、文化振興推進の中心となる建物として、雁宿ホールの運営・活用が残念な現状だと講師のご指摘を受け、具体的な運営・活用方法について考慮、実施をするチャンスだと実感できた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・魅力的な文化事業を継続的に展開して行く為に、半田市で文化的活動をしている様々な年齢層の人たちの意見や提案を直接聞く機会を設ける。(一般市民募集も良い。)
- ・半田市内のそれぞれの文化施設に、アートマネジメントに関わる専門職員を配置、更に次なる担い手を順次育成する。
- ・質の高い芸術・芸能等の文化と身近に接することができる機会をもっと積極的に設ける。
- ・文化行政の独立。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会 講師謝金		25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり		
			代表者	3,574円	
			他7名	3,571円	

令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 水野尚美

タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員

代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明



研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)

# 政務活動費成果届出書

届出者 嶋崎 昌弘

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ~生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について~

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

・達成できた

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

・文化振興を早急に進めるには、教育委員会部署でなく市長部局へ変更する。(ex 文化財団の設置)  
・当市は、文化行政が社会教育から独立時代への対応に適応していないから、新しい政策を推進する。  
・雁宿ホールの活用方法を再度見直し、有意義に活用する。(ex セントラル愛知の活用方法の見直し)

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり		
			代表者	3,574円	
			他7名	3,571円	



令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 鳴崎昌弘

タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。


領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員  
代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明 

研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)

# 政務活動費成果届出書

届出者  沢田 清

○使途項目 (○をつける) 調査研究・ 研修 ・広 報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ~生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について~

○目 的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結 果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

名古屋芸大学長の竹本義明様を講師に迎えて、ご講演をいただきました。半田市の文化について、宝の持ち腐れしているというご意見を伺い納得できると感じました。どのように宝を活かしていくかはこれからだが、ご意見をうかがえたことは目的達成である。

○提 言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

文化振興計画の策定について委員会組織の参加者については、行政のみであってはならない。雁宿ホールについては、文化財として生かされた使われ方が出来ていない、現状は生涯学習施設としての活用になっているので、文化会館としての利用方法を考えていかなければならない。それにはしっかりとした利用計画をたてていくこと。中心的な人材確保がポイントになる。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会	講師謝金	25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり		
			代表者	3,574円	
			他7名	3,571円	

令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 沢田 清

タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。


領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員  
代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明 

研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)

# 政務活動費成果届出書

届出者 伊藤 正興

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

今回、竹本先生の話聞き、アートマネジメントの必要性を感じた。芸術が社会的に成立する「創造」、「享受」、「教育」、「分配」の4要素について理解をした。自治体が文化振興計画を策定する目的や意義を学び、これから進めていく半田市の文化振興について改めて考えることが出来た。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

半田市民が文化、芸術に親しみをもち、この地域の文化振興を進めていくなかで、文化振興と生涯学習の関係性を整理して、その内容を文化振興計画として策定する。竹本先生より雁宿ホールが活用されていないという指摘を受ける。文化・芸術団体ともしっかりと意見交換を行い、半田市の文化振興の拠点とするための具体的な戦略と手段、事業内容を明確にして実行する。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

確認欄	議長	管理委員長



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会 講師謝金		25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり		
			代表者	3,574円	
			他7名	3,571円	

令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 伊藤正興

タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。


領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員  
代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明 

研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)

# 政務活動費成果届出書

届出者 山本半治

○使途項目 (○をつける) 調査研究・研修・広報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ~生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について~

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

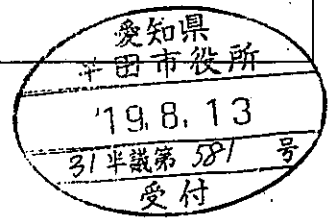
達成できた。  
市民生活の向上には、創造性を育むための文化芸術の推進が重要であることが理解でき文化創造プランの必要性を感じた。

○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・半田市版の文化創造プランを策定する。
- ・雁宿ホールを生涯学習の施設として活用するだけでなく、文化振興の拠点としても活用していく。
- ・文化振興を推進するためには専門知識と経験のある人材が必要。
- ・市長部局に文化振興の組織を置くことで早い対応ができる。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

	議長	管理委員長
確認欄		





申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容		金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会 講師謝金		25,000円	①
			合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり		
			代表者	3,574円	
			他7名	3,571円	

令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 山本半治

タイトル

文化振興について ~生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について~

1枚中

1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員

代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明



研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)

# 政務活動費成果届出書

届出者 竹内 功治

○使途項目 (○をつける) 調査研究 **研修** 広報・資料作成・資料購入

○タイトル

文化振興について ～生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について～

○目的 (計画書の目的欄をそのまま記載)

今日、新たな社会づくりモデルとして、教育・福祉・まちづくり・観光・産業等幅広い分野との関連性を意識した文化振興がより一層求められています。文化振興の果たす役割を見直し、その可能性を最大限に引き出した街づくりを研究し、半田市にあった文化振興のあり方の提言に役立てたい。

○結果 (目的は達成できたか。予想と外れた場合にはその旨も記載。)

- ・文化施設の公演(講演)の多くは音楽関係であるが、市民参加のことを考えると、文化振興へ繋げやすく、また集団育成も行いやすい。
- ・文化施設は建設が目的になりがちで、運営していく視点を持たないといけない。
- ・文化施設の多くは指定管理により運営しているが、予算が掛かることが多いため、完全な民営化は少ない。(幸田町 年間1000万円、武豊町 年間2000万円の予算)
- ・専門性の高い責任者やアドバイザーを置くべきであり、将来に文化振興に携わる人材の育成も必要である。
- ・半田市は多くの文化施設があるが、特に雁宿ホールに関しては、生涯学習の利用に留まっているように感じられる。

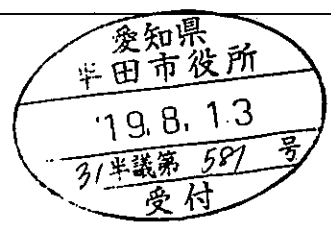
○提言 (半田市に対し、何をどう活用するか。)

- ・市民が参加しやすいよう、音楽関係などの文化振興の機会や集団育成を進める。
- ・専門性の高い責任者を置いて、文化振興の推進を図る。
- ・将来の人材育成も考えた人事を行う。
- ・雁宿ホールの利用について、文化振興を中心としたプログラムを考える。
- ・文化施設の運営の在り方について、考える。

○その他 (その他特記事項があれば記載。目的とは別内容も可。)

・雁宿ホールの規模なら、年間5000万円の予算を立てて、文化振興の取り組みを行うべきとの説明があった。

	議長	管理委員長
確認欄		



申し合わせ様式第1号

○行程・予算（資料購入の場合は、内容欄に書名と出版社を記入）

日にち	時間	内容	金額（円）	領収書
7/19	午後1時30分 ～ 午後3時	勉強会 講師謝金	25,000円	①
		合計	25,000円	
		25,000円を7人で按分	一人あたり	
			代表者	3,574円
			他7名	3,571円

令和元年8月13日

領収書等貼付用紙

議員名 竹内功治

タイトル

文化振興について ~生涯学習計画の改定に向けた文化振興のあり方について~

1枚中 1枚目

※報告書における領収書 No.が分かるように貼り付けること。

領 収 書

金 25,000 円 也

但し、7月19日開催 半田市議会議員勉強会の  
講師謝金として、上記金額領収いたしました。

令和元年7月19日

半田市議会議員

代表 小出義一 他 6名 様

竹本義明



研修会の講師謝金の原本は小出義一議員に添付して、同席者9名で按分する。

25,000円 ÷ 7人 = 3,571円 (他6名)

3,574円 (小出議員)